

(I) 小児の心身障害発生の疫学的研究

(1) 心身障害児発生のサーベイランス機構に関する研究

分担研究者 芦沢正見
(国立公衆衛生院疫学部)

研究協力者 木村正文
(国立公衆衛生院衛生人口学部)

黒子武道
(東京都神経科学総合研究所疫学部門)

野末源一
(日赤医療センター産婦人科)

I 研究目的：近年、先天異常児の出生予防は、内外ともに母子保健行政の主要な焦点の一つとなっている。われわれは疫学的見地から、先天異常児の出生予防に資するため、

1) 死産中の先天異常を原因とする死産例の統計的解析。

2) 先天異常サーベイランス機構設定に関し、モニタリングの可能性、有用性のテストをふくむ予備的研究とモニタリングのための共通調査個票試案の作成。

3) 母子保健記録の連結(レコードリンケージ)を、現行母子保健行政上、分散して取られている記録類の連結の可能性の検討。

以上の3項目について所要な研究を行なうことを目的とした。

II 研究方法：上記の1), 2), 3)について、それぞれの方法によりアプローチを試みた。

1) 昭和47年の東京都自然死産小票全数の中より、先天異常の記載のある全例について、ICD基本分類による分類を行ない、かつ、母の年齢、出産歴、在胎月数、立会者別等の各種要因別に集計解析を行なった。(黒子・木村担当)

2) 昭和44年より、昭和49年にいたる4カ年間の日赤産院分娩記録個人別ファイルから抽出した「先天異常」の任意標本について、

その異常児(胎)分娩1例に対し直前1例、直後1例の2例を対照例とするケースコントロール研究を行ない、サーベイランス機構の基礎を成すモニタリングを系統的長期的に実施する場合の基本情報として注目すべき項目の検討を試みた。(野末・木村・芦沢担当)

3) i) 現行の母子保健行政における記録(情報)の記載状況の実際について、東京都豊島区豊島池袋保健所において、昭和50年1～7月の間の乳児(乳生児)死亡全例8例について下記の方法を用いて調査した。

①保健所の記録(妊産婦健康診査受診票・妊産婦訪問管理票・母子管理カード)より必要事項の転記。

②家庭訪問による母親を対象とした面接調査。

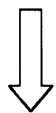
③当該妊娠分娩に関係がある医療機関の訪問面接。(担当・木村)

ii) 東京都練馬区練馬保健所管内昭和43年度出生児6,059名をコーホルトとし、昭和50年4月就学にいたる期間(満6か年)において、「先天ならびに後天異常」が行政上の記録として記載把握されている実状を追跡調査した。閲覧した資料は、

①人口動態統計(出生票・死産票・死亡票)

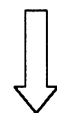
- ②保健所母子管理カード
- ③就学予定者台帳（就学予定者予防接
種台帳で代用）
- ④就学时検診票
- ⑤養護学校・特殊学級および就学猶予
者名簿
- ⑥育成医療許可書
- ⑦小児慢性特定疾患医療費助成許可書
- ⑧身体障害児登録カード
- ⑨精神薄弱児指導台帳
- ⑩「練馬区障害児をもつ親の会」名簿
（担当・芦沢）

Ⅲ 成績・考察ならびに結論：以下標題の研究目的にそって行なわれた研究協力者の分担研究成績を順次述べる。考察ならびに結論はそれぞれの成績報告にあわせて記述することとする。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的:近年,先天異常児の出生予防は,内外ともに母子保健行政の主要な焦点の一つとなっている。われわれは疫学的見地から,先天異常児の出生予防に資するため,

- 1)死産中の先天異常を原因とする死産例の統計的解析。
- 2)先天異常サーベイランス機構設定に関し,モニタリングの可能性,有用性のテストをふくむ予備的研究とモニタリングのための共通調査個票試案の作成。
- 3)母子保健記録の連結(レコードリンケージ)を,現行母子保健行政上,分散して取られている記録類の連結の可能性の検討。

以上の3項目について所要な研究を行なうことを目的とした。